

現時点での市主催のイベント等における感染リスク低減のための考え方

1 イベント等の開催可否について

◎どうしてもこの時期、年度内に実施しないといけない集会なのかどうか（イベントの重要度）をまずチェックすること

1) 高齢の方や基礎疾患のある方のみの屋内の集会については、原則、延期又は中止

例：老人会、患者会 等

但し、屋外での開催については、参加者の密集度を勘案し運営方法を検討

例：ラジオ体操 等

2) 不特定多数が参加する集会については、主な参加者のプロフィールを勘案し開催を検討

例：高齢者の参加が大多数の場合には1)に準ずる

健康成人が大多数の場合には開催場所、密集度、運営方法を検討

3) 特定多数が参加する集会（小児中心の集会を含む）については、注意事項を事前に周知し、開催する場合には、運営方法を検討

特に、小児が中心の集会の場合には、付き添いなどの成人への注意喚起を行う方法も含め運営方法を検討

2 開催の際に考慮すべき情報

1) 参加者の年齢、人数、属性

2) 場 所

・屋外か屋内か、座席の配置、換気の可否、出入口の状況 等

3) 集会内容

・対面集会か座学か、接触の可能性、飲食を伴うか 等

4) 参加者への伝達方法

3 会場運営の検討

1) 開催前の情報提供

2) 入場時の受付体制

3) 集会の運営の変更

4) 退場時の体制

## ○会場運営の具体的方法

### 1)開催前の情報提供

例

お願い

咳やくしゃみなどの風邪のような症状のある方は参加を控えてください。

また、参加前に、体温を測定して、37.5℃以上の場合には、参加を控えてください。

参加する場合には、お一人お一人が咳エチケットや頻繁な手洗いなどの実施を心がけてください。必要に応じてマスクを着用してください。

特に、ご家族など周囲に風邪症状のある人がいる場合には、参加を見合わせることも考えてください。

### 2)入場前の受付体制

#### ①参加者の健康チェック

- ・個人ごとに健康チェック(咳・鼻水などの風邪症状の有無)を行う。
- ・咳・鼻水などの風邪症状がある場合は、参加を控えていただく。

#### ②入室前の処置

- ・入室前に手洗いをを行う。
- ・手洗いができない場合には、可能な限り消毒用エタノールを用いて消毒する。

#### ③入室方法の検討

- ・混雑しないように、入室時間帯を制限する。
- ・参加者が停滞しないように入口・受付場所を増やす。
- ・入口の開閉は、原則、主催者が行う。(参加者が触れないようにする)

### 3)集会の運営の変更

#### ①会場の選定

- ・人数と会場のバランスを考え、広い会場に変更する。

#### ②参加者の間隔

- ・1～2m以上の間隔を取る。

#### ③集会の形態

- ・対面による集会(例:グループワークなど)は避ける。

#### ④換気

- ・集会中は、窓を開け、部屋の換気を行う。

#### 4) 退場時の体制

##### ① 退場方法の検討

- ・複数の出口を利用する。
- ・出口の開閉は、原則、主催者が行う。(参加者が触れないようにする)
- ・いちどきに退場せず、グループごとに退場させ混乱を避ける。

##### ② 帰宅後の健康状態の注意

- ・熱や咳、鼻水などの風邪症状が出ないか自己管理を行うよう注意を促す。